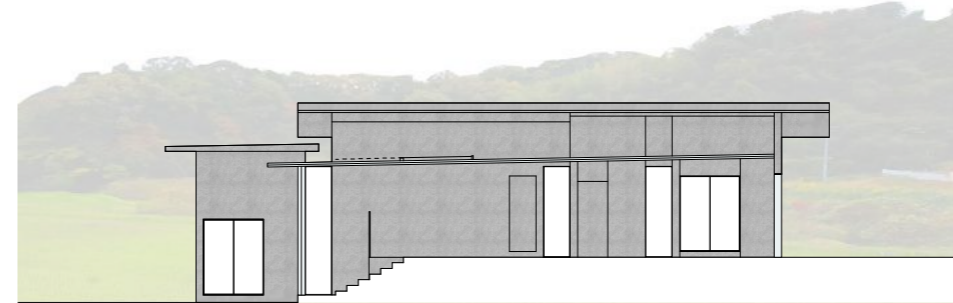
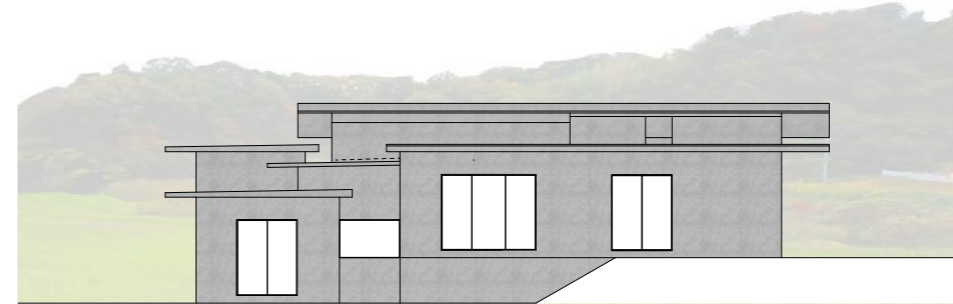


平面図兼配置図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100

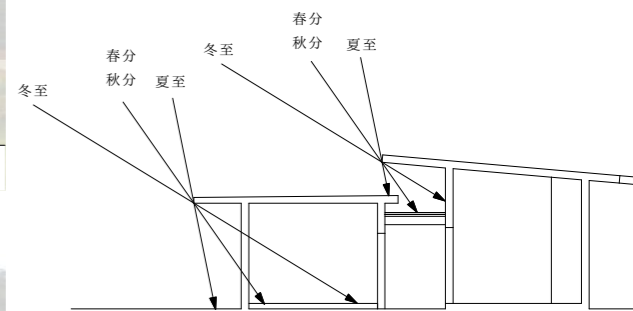


南側立面図 S=1/100

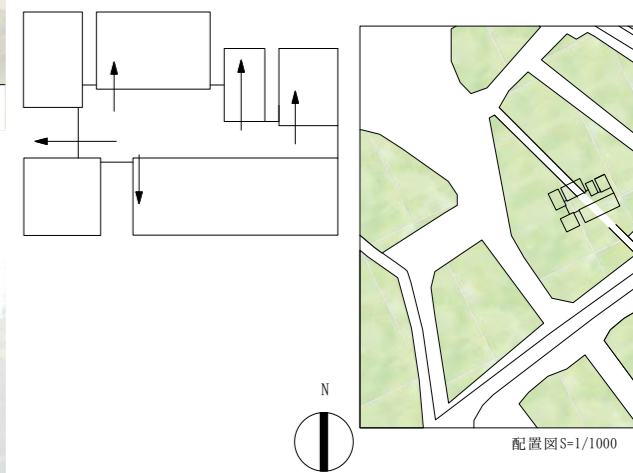


西側立面図 S=1/100

ダイアグラム
断面計画
底を延ばすことで夏の日差しから護り、冬は南側の開口部や建物の中心にある土間から隅まで日を送り過ごしやすい環境になるよう計画した。



平面計画
部屋と部屋を離して配置することで自然光が入り、建物全体が明るくなり、部屋を離して出来たスペースは周辺環境を取り込み自然と一体となる。



配置図S=1/1000

設計趣旨
広島県三原市八幡町野中の農地一角を選定した。敷地は山に囲まれ、田園と農村が広がっている。自然に恵まれた環境を住環境に取り込むことで新たな風景を作り出す。田園の延長線上に水盤があることで四季の移ろいを感じる場所となる。土間はガラスの屋根を開閉することで、半外部空間をつくり周りの自然を体全体で感じることができる。